

みどり保全創造事業費会計 (特別会計)

■ 基金及び特別会計について

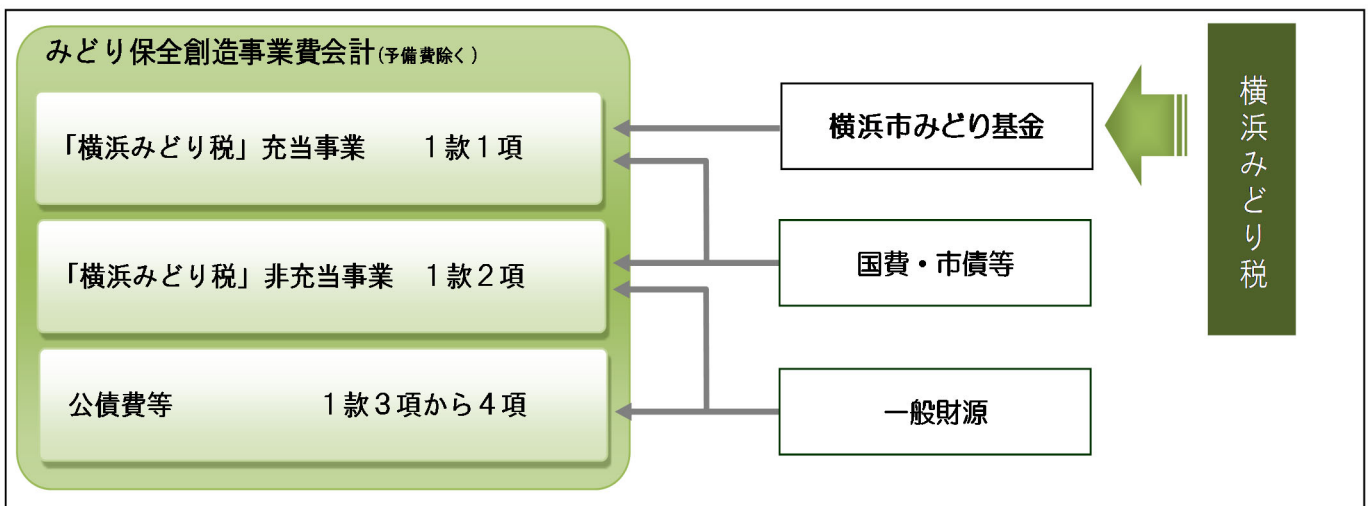
基金（横浜市みどり基金）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使いみちは横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税の用途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の用途を明確にします。

■ みどり保全創造事業費会計（特別会計）の財源について



■ みどり税の用途

横浜みどり税の用途は、次の4項目に整理しています。

- ・ 樹林地・農地の確実な担保
- ・ 身近な緑化の推進
- ・ 維持管理の充実による緑の質の向上
- ・ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

＜みどり保全創造事業費会計予算案総括表＞

(歳出)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1款 みどり保全創造事業費	12,573,691	12,609,689	△ 35,998	△ 0.3
1項 みどり保全創造事業費	5,649,794	5,780,379	△ 130,585	△ 2.3
1目 樹林地保全創造費	4,005,024	4,051,227	△ 46,203	△ 1.1
2目 都市農地保全費	487,104	595,250	△ 108,146	△ 18.2
3目 緑化推進創造費	1,157,666	1,133,902	23,764	2.1
2項 みどり保全事業費	4,738,125	4,827,180	△ 89,055	△ 1.8
1目 樹林地保全費	3,833,065	3,954,646	△ 121,581	△ 3.1
2目 都市農業育成費	292,507	282,319	10,188	3.6
3目 緑化推進費	582,433	575,515	6,918	1.2
4目 広報推進費	30,120	14,700	15,420	104.9
3項 基金積立金	1,000	1,000	-	0.0
1目 みどり基金積立金	1,000	1,000	-	0.0
4項 公債費	2,183,772	2,000,130	183,642	9.2
1目 元金	1,934,085	1,789,644	144,441	8.1
2目 利子	203,612	169,041	34,571	20.5
3目 公債諸費	46,075	41,445	4,630	11.2
5項 予備費	1,000	1,000	-	0.0
1目 予備費	1,000	1,000	-	0.0
計	12,573,691	12,609,689	△ 35,998	△ 0.3

(歳入)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1款 使用料及び手数料	2,621	2,621	-	0.0
2款 国庫支出金	1,870,000	1,920,170	△ 50,170	△ 2.6
3款 県支出金	150	150	-	0.0
4款 財産収入	1,000	1,000	-	0.0
5款 繰入金	6,754,786	6,420,485	334,301	5.2
一般会計繰入金	3,848,772	3,630,316	218,456	6.0
みどり基金繰入金	2,906,014	2,790,169	115,845	4.2
6款 諸収入	5,134	5,263	△ 129	△ 2.5
7款 市債	3,940,000	4,260,000	△ 320,000	△ 7.5
計	12,573,691	12,609,689	△ 35,998	△ 0.3

■ 横浜みどりアップ計画[2019-2023]の推進

「横浜みどり税」を財源の一部に活用し、3期目となる「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を推進しています。引き続き、緑の保全是もとより、ガーデンシティ横浜の推進や市民が実感できる緑の創出など、目標に向けて精力的に取り組みます。

■ 事業費一覧(公債費等を除く)

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税
			事業費	(内みどり税)	非充当 事業費
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む		7,838	4,005	(1,574)	3,833
①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業		6,935	3,314	(882)	3,621
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	樹林地の新規指定：60ha 樹林地の買取：22.4ha	6,935	3,314	(882)	3,621
②良好な森の育成事業		813	642	(642)	171
森の多様な機能に着目した森づくりの推進	森の維持管理：推進	639	468	(468)	171
指定した樹林地における維持管理の支援	維持管理の助成：170件	174	174	(174)	0
③森を育む人材の育成事業		29	28	(28)	1
森づくりを担う人材の育成	森づくりを担う人材の育成：推進 広報誌等での森づくり活動に関する情報発信：4回	14	14	(14)	0
森づくり活動団体への支援	森づくり活動団体への支援：30団体 森づくり活動団体への専門家派遣：4団体 チップー貸出し：推進	14	13	(13)	1
④市民が森に関わるきっかけづくり事業		62	22	(22)	40
森の楽しみづくり	市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：36回	18	18	(18)	0
森に関する情報発信	ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等：10回	44	4	(4)	40
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる		780	487	(236)	293
①良好な農景観の保全事業		257	87	(87)	171
水田の保全	水田保全面積：125ha 水源・水路の確保：2か所	102	40	(40)	62
特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	2	0	(0)	2
農景観を良好に維持する活動の支援	集団農地維持面積：730ha 農地縁辺部への植栽：11件 井戸の改修：2地区 土砂流出防止対策：3件 牧草等による環境対策：4ha たい肥化設備等の支援：5件	131	24	(24)	107
多様な主体による農地の利用促進	遊休農地の復元支援：0.3ha	23	23	(23)	0
②農とふれあう場づくり事業		447	400	(149)	46
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 【内訳】 収穫体験農園：1.5ha 市民農園：2.0ha 農園付公園：0ha (設計、工事等4.4ha)	418	400	(149)	18
市民が農を楽しむ支援する取組の推進	横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：90回 市民農業大学講座：35回 家族で学ぶ農体験講座の開催：6回	28	0	(0)	28

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税非充当
			事業費	(内みどり税)	事業費
③身近に農を感じる地産地消の推進事業		61	0	(0)	61
地産地消にふれる機会の拡大	直売所・青空市等の支援：57件 緑化用苗木の配布：25,000本 情報発信・PR活動（情報誌などの発行）：6回	61	0	(0)	61
④市民や企業と連携した地産地消の展開事業		15	0	(0)	15
地産地消を広げる人材の育成	はまふうどコンシェルジュの活動支援等：30件 地産地消ネットワーク交流会の開催：1回	4	0	(0)	4
市民や企業等との連携	市民や企業等との連携：10件 学校給食での市内産農産物の一斉供給：推進 料理コンクールの開催：1回	10	0	(0)	10
取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる		1,740	1,158	(1,095)	582
①まちなかでの緑の創出・育成事業		775	696	(643)	79
公共施設・公有地での緑の創出・育成	緑の創出：7件 緑の維持管理：推進	76	0	(0)	76
街路樹による良好な景観の創出・育成	並木の再生：2路線 空き樹の補植：推進 良好な維持管理：18区で推進	582	582	(582)	0
シンボリックな緑の創出・育成	公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理：推進 公開性のある緑空間の創出支援：推進	98	97	(45)	1
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	1	0	(0)	1
名木古木の保存	推進	18	17	(17)	1
②市民や企業と連携した緑のまちづくり事業		177	111	(111)	66
地域緑のまちづくり	新規：7地区	90	90	(90)	0
地域に根差した緑や花の楽しみづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組：18区で推進	64	0	(0)	64
人生記念樹の配布	8,000本配布	24	22	(22)	2
③子どもを育む空間での緑の創出・育成事業		90	15	(15)	75
保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	緑の創出：20か所 緑の維持管理：推進	90	15	(15)	75
④緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業		699	336	(326)	363
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	緑花による空間づくりと維持管理：推進	699	336	(326)	363
効果的な広報の展開		30	0	(0)	30
①市民の理解を広げる広報の展開事業		30	0	(0)	30
—	—	30	0	(0)	30
総計		10,388	5,650	(2,905)	4,738

※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。

債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事 項	期 間	限 度 額
緑地施設修繕工事 請負契約の締結に係る 予算外義務負担	令和6年度	限度額 3,000千円

(1)	樹林地保全創造費 (横浜みどり税充当) 1款1項1目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		4,005,024	4,051,227	△46,203	911,280	1,520,000	1,573,744	—

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等や都市公園内のまとまった樹林を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、緑地保全制度により指定された樹林地における維持管理の支援、森に関するイベントや講座の実施などを行います。

1 樹林地の確実な保全の推進 3,313,699千円(3,369,963千円)

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 3,313,699千円(3,369,963千円)

緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

- ・新規指定面積：60ha(1款2項1目と合わせた面積)
- ・買取見込面積：22.4ha(1款2項1目と合わせた面積)
- ・保全した樹林地の整備(初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策)

2 良好な森を育成する取組の推進 669,575千円(661,754千円)

(1) 良好な森の育成事業 641,795千円(635,824千円)

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 467,795千円(461,824千円)

市有樹林地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

イ 指定した樹林地における維持管理の支援 174,000千円(174,000千円)

緑地保全制度により指定した樹林地において、土地所有者が行う樹林地外周部の危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業等の費用、樹林地内部の倒木や枯木の撤去処分、不法投棄防止のためのフェンス設置、簡易土留めの設置費用の一部を助成します。さらに、台風の暴風による被害を受けた際に所有者が行う倒木の除去作業や処分にかかる費用の一部を助成します。

- ・維持管理の助成：150件(通常管理)
- ：20件(台風被害)

(2) 森を育む人材の育成事業 27,780千円(25,930千円)

ア 森づくりを担う人材の育成 14,480千円(13,930千円)

イ 森づくり活動団体への支援 13,300千円(12,000千円)

- ・森づくり活動団体への支援：30団体
- ・チップの貸出しと間伐材を活用した樹名板作成

3 森と市民とをつなげる取組の推進 21,750千円(19,510千円)

(1) 市民が森に関わるきっかけづくり事業 21,750千円(19,510千円)

ア 森の楽しみづくり 17,550千円(16,310千円)

森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座などを開催します。

- ・イベントの実施及び広報活動：36回

イ 森に関する情報発信 4,200千円(3,200千円)

市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。

(2)	都市農地保全費 (横浜みどり税充当) 1款1項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		487,104	595,250	△108,146	31,000	220,000	236,104	—

景観形成や生物多様性の保全、雨水貯留などのグリーンインフラとしての農地が持つ環境面での役割に着目した「良好な農景観の保全」や、「農とふれあう場づくり」を重点的に展開し、市民が身近に農を感じる場をつくります。

1 農に親しむ取組の推進 487,104千円(595,250千円)

(1) 良好な農景観の保全事業 86,710千円(90,436千円)

ア 水田の保全 39,900千円(39,900千円)

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稲作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付します。

・水田保全面積：125.0ha

イ 農景観を良好に維持する活動の支援 24,150千円(23,916千円)

・農地周辺の不法投棄対策として、夜間警備のパトロール等を実施します。

夜間警備パトロール：234日

・牧草等の栽培を奨励し、農地からの土ぼこりの発生防止を図ります。

牧草栽培奨励：4.0ha

・せん定枝の堆肥化に必要な共同利用設備等の整備を支援します。

せん定枝堆肥化設備等の支援：5件

ウ 多様な主体による農地の利用促進 22,660千円(26,620千円)

意欲ある農家や新規参入者など多様な主体へ農地を貸し付けて、農地の保全につながるように、6年間以上の貸借設定をしている農地所有者に奨励金を交付します。また、遊休化している農地の復元を支援します。

・農地の長期貸付により保全されている農地：32.0ha

・遊休農地の復元：0.3ha

(2) 農とふれあう場づくり事業 400,394千円(504,814千円)

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 400,394千円(504,814千円)

・野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

収穫体験農園の開設支援：1.5ha

・土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を、市が買い取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を主とした都市公園を整備します。

農園付公園の開設：0ha（設計、工事等面積：4.4ha）

なお、従来から実施している、利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」などの多様な市民農園の開設の支援については、1款2項2目の都市農業育成費（横浜みどり税非充当事業）で対応します。

(3)	緑化推進創造費 (横浜みどり税充当) 1款1項3目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		1,157,666	1,133,902	23,764	3,500	59,000	1,095,166	—

緑があふれる都市で暮らす豊かさを市民が「実感」できるよう、市民生活の身近な場所や多くの人が訪れる場所で、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・支援を推進します。

- 1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進** 695,800千円(661,700千円)
- (1) まちなかでの緑の創出・育成事業 695,800千円(661,700千円)
- ア 街路樹による良好な景観の創出・育成 582,000千円(582,000千円)
地域で愛される並木の再生や空き樹の補植など、街路樹による良好な景観づくりを推進します。
- イ シンボリックな緑の創出・育成 97,000千円(62,900千円)
多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し緑豊かな空間を創出するほか、地域に親しまれている緑のオープンスペースが所有者の不測の事態等により存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。
- ウ 名木古木の保存 16,800千円(16,800千円)
地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な費用の一部を助成します。
- 2 緑や花に親しむ取組の推進** 461,866千円(472,202千円)
- (1) 市民や企業と連携した緑のまちづくり事業 111,366千円(102,152千円)
- ア 地域緑のまちづくり 89,686千円(92,152千円)
地域が主体となり、住宅街や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。
- イ 人生記念樹の配布 21,680千円(10,000千円)
・人生の節目の記念に希望した市民を対象に苗木を無料配布：8,000本
- (2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業 14,500千円(14,500千円)
- ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 14,500千円(14,500千円)
・緑の創出（民間）：10か所（1款2項3目で公立保育園、小中学校10か所、計20か所）
・芝生等の維持管理に対する支援
- (3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業 336,000千円(355,550千円)
- ア 都心臨海部等の^{りょくか}緑花による魅力ある空間づくり 336,000千円(355,550千円)
みなとみらい21地区などの都心臨海部や多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。
あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます

(4)	樹林地保全費 (横浜みどり税非充 当)	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
	1 款 2 項 1 目	3,833,065	3,954,646	△121,581	917,370	2,108,000	6,490	801,205

森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、ウェルカムセンターを活用した森に関する情報発信などを行います。

1 樹林地の確実な保全の推進 3,621,051 千円 (3,748,137 千円)

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 3,621,051 千円 (3,748,137 千円)

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

- ・新規指定面積： 60ha (1 款 1 項 1 目と合わせた面積)
- ・買取り見込面積： 22.4 ha (1 款 1 項 1 目と合わせた面積)
- ・保全した樹林地の整備 (初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策)
- ・緑地保存奨励

2 良好な森を育成する取組の推進 172,083 千円 (164,745 千円)

(1) 良好な森の育成事業 171,083 千円 (163,745 千円)

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 171,083 千円 (163,745 千円)

市有樹林地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

(2) 森を育む人材の育成事業 1,000 千円 (1,000 千円)

ア 森づくり活動団体への支援 1,000 千円 (1,000 千円)

維持管理作業の際に発生した間伐材などを有効活用するための研修を実施します。

3 森と市民とをつなげる取組の推進 39,931 千円 (41,764 千円)

(1) 市民が森に関わるきっかけづくり事業 39,931 千円 (41,764 千円)

ア 森に関する情報発信 39,931 千円 (41,764 千円)

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業の CSR 活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等：10 回

ウェルカムセンター 5 館

- ・自然観察センター (横浜自然観察の森) <栄区>
- ・にいほる里山交流センター (新治里山公園) <緑区>
- ・虹の家 (舞岡ふるさと村) <戸塚区>
- ・四季の家 (寺家ふるさと村) <青葉区>
- ・環境活動支援センター 交流スペース <保土ヶ谷区>

(5)	都市農業育成費 (横浜みどり税非 充当) 1款2項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		292,507	282,319	10,188	—	—	1,265	291,242

新鮮で安心な農畜産物の生産のほか、グリーンインフラとしての雨水貯留・浸透等の役割や、レクリエーションなど、多様で公益的な機能を持つ農地を将来にわたって保全するための取組を進めます。また、身近な場所に農地がある横浜の都市農業の特徴を生かし、新鮮な農畜産物を購入できる直売所の開設支援等を通じた地産地消にふれる機会を拡大します。

- 1 農に親しむ取組の推進 217,029千円(206,655千円)
 (1) 良好な農景観の保全事業 170,701千円(162,613千円)
 ア 水田の保全 62,142千円(66,557千円)

良好な水田景観を保全するために必要な水源・水路を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸や水路等の設置・改修を支援します。

- ・水源・水路の確保支援：2か所

- イ 特定農業用施設保全契約の締結 1,982千円(2,021千円)

農家と横浜市が「所有農地等を10年間適正に管理すること」と「農業生産に不可欠な農業用施設を10年間継続して利用すること」を契約して、横浜市が当該施設の敷地を「特定農業用施設用地」に指定し、固定資産税・都市計画税を軽減することで、農地の保全を図ります。

- ウ 農景観を良好に維持する取組の支援 106,577千円(94,035千円)

良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源を確保するための井戸の整備を支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出の防止対策を支援します。

また、下水道事業と連携し、農地が持つ保水・浸透機能の向上を図るグリーンインフラの取組を進めます。

- ・集団農地維持面積：730.0ha
- ・農地縁辺部への植栽への支援：11件
- ・土砂流出防止対策への支援：3件
- ・井戸の改修への支援：2地区

- (2) 農とふれあう場づくり事業 46,328千円(44,042千円)

- ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 17,974千円(15,688千円)

利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」など、多様な市民農園の開設を支援します。

- ・市民農園の開設支援：2.0ha

なお、市民の皆様が、野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験できる「収穫体験農園」や、「農園付公園」は、1款1項2目の都市農地保全費（横浜みどり税充当事業）で対応します。

イ 市民が農を楽しみ支援する取組の推進 28,354 千円 (28,354 千円)

- ・「横浜ふるさと村」や「恵みの里」での農体験教室の開催等の取組を推進します。
農体験教室などの実施支援：90 回
- ・市民農業大学講座や家族で学ぶ農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。
市民農業大学講座の開催：1 年次 35 回、2 年次 10 回

家族で学ぶ農体験講座の開催：6 回

2 地産地消の推進 75,478 千円 (75,664 千円)

(1) 身近に農を感じる地産地消の推進事業 60,788 千円 (59,764 千円)

ア 地産地消にふれる機会の拡大 60,788 千円 (59,764 千円)

- ・直売所や加工所に必要な設備の導入や運営を支援します。また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。
直売所等の支援：17 件、青空市・マルシェ等の開催支援：40 件
- ・市内産の苗木や花苗を市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用し、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出します。
緑化用苗木の生産・配布：25,000 本
- ・情報誌などの制作・発行や地産地消に関する区局等での取組支援、横浜の農を PR するイベントの実施など、市民が地産地消を身近に感じられる取組を推進します。
- ・横浜の農の魅力を発信するため、「横浜農場」を活用したプロモーションを行います。

(2) 市民や企業と連携した地産地消の展開事業 14,690 千円 (15,900 千円)

ア 地産地消を広げる人材の育成 4,490 千円 (4,390 千円)

- ・地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュの育成講座を開催します。
- ・直売を行う生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催します。

イ 市民や企業等との連携 10,200 千円 (11,510 千円)

- ・生産者や企業等のニーズを集約し、両者のニーズをマッチングすることで、地産地消を広げます。
市民や企業等との連携：10 件
- ・市内の中小企業等を対象に、地産地消に関するビジネスプランを策定するための講座を開催します。また、補助対象に選定された事業の開始に係る経費の補助を実施します。
- ・小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携して学校給食での市内産農産物の一斉供給や小学生を対象とした料理コンクールを開催します。
料理コンクールの開催：1 回

(6)	緑化推進費 (横浜みどり税非 充当) 1 款 2 項 3 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		582,433	575,515	6,918	7,000	33,000	—	542,433

緑があふれる都市で暮らす豊かさを、市民が「実感」できるよう、取組を推進します。
 公有地においては、公共施設から率先して、質の高い緑を創出し、民有地においては、多くの市民の目にふれる場所でシンボリックな緑の創出に取り組みます。
 また、市民の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

- 1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進** 79,035 千円(111,485 千円)
- (1) まちなかでの緑の創出・育成事業 79,035 千円(111,485 千円)
- ア 公共施設・公有地での緑の創出・育成 75,750 千円(108,000 千円)
 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。
- イ シンボリックな緑の創出・育成 1,205 千円(1,205 千円)
 多くの人を訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。
- ウ 建築物緑化保全契約の締結 800 千円(1,000 千円)
 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。
- エ 名木古木の保存 1,280 千円(1,280 千円)
 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な費用の一部を助成します。
- 2 緑や花に親しむ取組の推進** 503,398 千円(464,030 千円)
- (1) 市民や企業と連携した緑のまちづくり事業 65,830 千円(59,680 千円)
- ア 地域に根差した緑や花の楽しみづくり 64,000 千円(58,000 千円)
 緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進し、2027 年の国際園芸博覧会に向けた機運醸成につなげます。
- イ 人生記念樹の配布 1,830 千円(1,680 千円)
 ・人生の節目の記念に希望した市民を対象に苗木を無料配布：8,000 本
- (2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業 75,000 千円(68,000 千円)
- ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 75,000 千円(68,000 千円)
 ・緑の創出（公立）：10 か所（1 款 1 項 3 目で民間保育園、幼稚園、小中学校 10 か所、計 20 か所）
 ・芝生等の維持管理に対する支援
- (3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業 362,568 千円(336,350 千円)
- ア 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり 362,568 千円(336,350 千円)
 みなとみらい 21 地区などの都心臨海部や里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。

(7)	広報推進費 (横浜みどり税非 充当) 1 款 2 項 4 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		30,120	14,700	15,420	—	—	—	30,120

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税の内容及び取組実績を市民の皆様にご覧いただき、理解を深めていただけるよう積極的な広報を展開します。また、緑に関する活動に参加するきっかけとなる機会を提供し、その効果を実感していただけるよう取り組みます。

1 市民の理解を広げる広報の展開事業 **30,120 千円(14,700 千円)**

横浜みどりアップ計画の取組と横浜みどり税について、各種メディア等を活用した広報を積極的に行います。

- ・ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載や実績報告書の概要版リーフレットの市内配布
- ・ マスコットキャラクターを活用した広報動画等の SNS 発信や交通広告
- ・ イベントへの出展、広報
- ・ 事業実施箇所での表示
- ・ 市民認知度の調査

(8)	みどり基金積 立金 1 款 3 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		1,000	1,000	—	—	—	1,000	—

1 みどり基金積立金 **1,000 千円(1,000 千円)**

横浜市みどり基金の運用から生ずる収益を基金に積み立てます。

(9)	元金 1 款 4 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		1,934,085	1,789,644	144,441	—	—	—	1,934,085

1 市債金会計繰出金 **1,934,085 千円(1,789,644 千円)**

みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。

(10)	利子 1 款 4 項 2 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		203,612	169,041	34,571	—	—	—	203,612

1 市債金会計繰出金 **203,612 千円(169,041 千円)**
みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。

(11)	公債諸費 1 款 4 項 3 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		46,075	41,445	4,630	—	—	—	46,075

1 市債金会計繰出金 **46,075 千円(41,445 千円)**
みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。

(12)	予備費 1 款 5 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		1,000	1,000	—	—	—	1,000	—

1 予備費 **1,000 千円(1,000 千円)**
みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。